

関東民放クラブ活動だより

美術鑑賞クラブだより

知識洋治(EX・KKB)

「国内外の新型コロナウイルスの影響で作品輸送の目途が立たず、本年開催は困難と判断し…」

これは20年10月6日開幕予定だった『ゴッホと静物画』(SONPO美術館)開催中止の告知だが、昨年は多くの展覧会が中止や延期に追い込まれた。

東京都内だけでも100を数える美術館。その恩恵を生かし毎月優れた展覧会を鑑賞していた「美術鑑賞クラブ」は、2月の『ハマスホイとデンマークの絵画』(東京都美術館)を最後に休会している。

3月『ロンドン・ナショナル・ギャラリー展』(国立西洋美術館)は6月に延期、4月『法隆寺金堂壁画と百済観音』(東京国立博物館)は内覧会を開催しながら中止、5月『きものKIMONO』(東京国立博物館)延期、6月『ポストン美術館展』(東京都美術館)中止等々。さらに従来当日券で自由に入



世界文化遺産に登録された西洋美術館

館できたのが、日時指定の事前予約制となり、今までのような鑑賞方法がとれなくなつた。

今後も海外からの作品搬入は難しく、名作が一堂に会する大型展覧会は影を潜め、各美術館の所蔵展、国内の作品を集めた企画展などが主流になるだろう。

展覧会は少なくとも2〜3年前から準備に取り掛かり、協賛スポンサーを獲得、入館待ちで長蛇の列、図録やグッズが飛ぶように売れて、やっと採算分岐点に達する事業である。3密

を避けているようでは話にならない。

これからの展覧会開催が難渋するのは必至だ。

「美術鑑賞クラブ」もコロナ時代に対応した新しい形態を模索しなければならない。

晩秋の上野公園



園内には13の美術館・博物館が…

ない思いで迎えられたこととお察しします。本年前半と言われるワクワクン開発後には、みんなで思い切り外に出て、それぞれの労苦を存分に語り合いたいものです。

さて、新潟支部は5月に創立30年を迎えます。平成3年、23名の会員で発足し、25年の94名をピークに、現在80名。ただ嬉しいことに創立時のメンバーが3名在籍しています。

現時点で時期は特定できませんが、ご来賓をお招きして30年記念大会を開催し、30年表彰等も織り込み会員全員で盛大にお祝いをしたいと考えております。

ところで、コロナ禍以降人の交流が極端に長期間制限されています。その結果一人で、あるいは家族だけの生活が当たり前になり、交流の仕方が『下手』になつている後輩はいないでしょうか。経験豊かな皆さんにお願いします。

これからも先輩として彼らと懇親を重ね、はたまた同好会に誘い楽しいクラブにしていきたいでしょう。

お陰様で30年

新潟支部長 樋浦 孟

新春をお慶び申し上げます。全国会員の皆様にはこの正月をこれまでに体験したこと